

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所 鶴岡市

氏 名 國井 英夫 氏

年 齢 71 歳

現 職 株式会社庄交コーポレーション 代表取締役社長
庄内交通株式会社 取締役会長
公益社団法人山形県観光物産協会 副会長
やまがた観光キャンペーン推進協議会 会長

2 受賞理由

公益社団法人山形県観光物産協会の副会長及びやまがた観光キャンペーン推進協議会の会長として、また、庄内地域の観光物産及び交通の中心的企業の社長として、庄内地域のみならず全県的な観光誘客や受け入れ態勢の整備に尽力するとともに、デスティネーションキャンペーンのけん引役として、本県における観光客の拡大に尽力するなど、本県産業の発展に大きく貢献している。

3 具体的功績

- (1) 庄内地域の観光物産及び交通の中心的企業である株式会社庄交コーポレーションの代表者として、庄内地域のみならず全県的な観光誘客や受け入れ態勢の整備に尽力し、観光物産及び交通業界の振興に大きく貢献している。
- (2) 公益社団法人山形県観光物産協会の副会長及びやまがた観光キャンペーン推進協議会の会長に就任し、山形県の観光と物産の振興のリーダーとして卓越した見識と指導力を発揮し、全県的な観光誘客や受け入れ態勢の整備に献身的に尽力した功績は誠に顕著である。
- (3) J Rグループ各社との共同により実施された新潟県と山形県合同の新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンにおいて、山形県側の代表として事業の企画・実施に尽力し、大成功に導くことで、本県産業への波及効果を高めた。

功 績 概 要 書

1 受賞者

住 所 真室川町
氏 名 庄司 正人 氏
年 齢 70 歳
現 職 株式会社山形メタル 代表取締役
新庄中核工業団地立地企業協議会 会長

2 受賞理由

建築用内外装パネル製造や各種金属加工等を手掛ける株式会社山形メタルの代表者として、自社の技術・経営の革新に取り組み、本県産業の発展に大きく貢献している。また、最上地域の4商工会が合併して発足したものがみ北部商工会の初代会長や新庄中核工業団地立地企業協議会の会長等の要職に就き、若者定着促進や子育て支援など地域課題の解決にも尽力し、その貢献度は非常に高い。

3 具体的功績

- (1) 建築用内外装パネル製造や各種金属加工等を手掛ける株式会社山形メタルの代表者として、建築用内外装パネル分野においては、設計から板金、塗装までの一貫生産を強みに、クオリティの高い製品づくりを行っており、東京スカイツリーや羽田空港国際ターミナルなど国内著名建築物に採用されるなど、本県産業の発展に大きく貢献している。
- (2) 平成18年に真室川町商工会会長に就任し、最上郡北部の4商工会の合併にあたっては、卓越したリーダーシップを発揮し、円滑な合併に尽力するとともに、平成22年に発足したものがみ北部商工会の初代会長に就任し、職員の意識改革、組織・体制づくり、事務の合理化に精力的に取り組み、新体制を軌道に乗せた功績は顕著である。
- (3) 平成28年に新庄中核工業団地立地企業協議会会長に就任し、最上地域の若者の流出抑制・確保・定着のため、小・中・高等学校のカリキュラムに合わせた「オーダーメイド工業見学会」を実施するとともに、同団地内の子育て世代の従業員のため、県内初の工業団地内企業主導型保育園の開設を実現するなど、地域課題の解決にも尽力し、その貢献度は非常に高い。

功 績 概 要 書

1 受賞者

所在地 山形市
団体名 日本地下水開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 桂木 宣均

2 受賞理由

「自然との共生をメインテーマに、再生可能な熱エネルギーである地下水の開発と有効利用を通じて、持続可能な脱炭素社会の実現に貢献する」のスローガンのもと、永年の研究開発が実を結び、日本国内初の帯水層蓄熱冷暖房システムを開発・導入し各種賞を受賞。「メイドイン山形」の技術で地球温暖化対策や再生可能な熱エネルギーの利用拡大におけるリーディングカンパニーとして、本県産業の発展向上に寄与している。

3 具体的功績

- (1) 地下水及び再生可能エネルギーに関する高い知識と技術力を有し、国内外での学会にて研究成果を発表。国際特許を含む多数の特許保有や実用新案登録、表彰受賞歴等からも、新技術の発明・開発における当社の姿勢は県内外で高く評価されている。
- (2) 当社における消融雪設備・環境保全・資源開発実績は東北一円のほか、積雪寒冷地の各県にて施工実績があり、「メイドイン山形」の技術力の発揮や地元の雇用増加、地域経済活性化に大きく貢献している。
- (3) 経済産業省の「ゼロエミ・チャレンジ企業リスト」に掲載された県内企業は当社1社のみであり、地球温暖化対策や脱炭素社会の実現に向けたリーディングカンパニー。令和2年1月には「SDGs」への取組みをいち早く表明するなど、新たな分野にも積極的に挑戦している。